

自主防瓦版

2025年
2月14日
(第148号)

延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

結成しました

自主防災組織率
組織数
281組織
組織率

86.43%
令和7年1月9日
現在

防災訓練は災害
時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。
「延岡市 自主防瓦版」で検索してみてください。

消防出初式

新春恒例の延岡市消防出初式が令和七年一月十二日(日)4箇所の会場で実施されました。

延岡会場は、東浜砂町妙田緑地公園において午前8時から消防本部・署、消防団第1支団から第3支団が参加し、点検長である読谷山洋司市長の点検開始宣言後、通常点検が行われました。

通常点検後、鷺島橋下流河川敷において消防団車両約44台による一斉放水が行われ、多くの方から拍手が起きました。

次に延岡市役所前で市消防団ラッパ隊の演奏に合わせて徒歩部隊・車両部隊の順で分列行進が行われました。消防署、消防団及び幼年消防クラブから約600名が参加しました。



【通常点検】



【機能別消防団員の分列行進】



【車両部隊の分列行進】



【消防団車両による一斉放水】

須美江町区防災訓練

須美江町区自主防災組織(佐藤一彦会長)は、令和六年十二月八日(日)須美江公民館で防災訓練を行いました。

大雨により避難指示が発令されたとの想定で地区内放送及び第58部消防団(甲斐宏明部長)が避難広報を行うと、地区住民は、須美江公民館まで避難しました。また、一部住民が取り残されたとの想定し、消防団車両による救出及び公民館までの搬送訓練を行いました。

須美江公民館では、防災資機材操作訓練を実施しました。その後、東海派出所の警察官による車両で避難する際の注意事項及び防災推進員による大雨・土砂災害時の対応について講話を受けました。



【消防団員による救助】

片田町自由が丘区防災訓練

片田町自由が丘区自主防災組織(渡井俊行会長)は、令和六年十二月八日(日)地区内及び青朋高校で防災訓練を行いました。地震が発生したとの想定で、住民の方は、地区内に指定した一時避難場所へ避難しました。その後、指定避難所の青朋高校まで、まち歩きを行い、危険箇所を確認しました。



【危険箇所を確認中！】

別府町区防災訓練

富美山町小柚木区自主防災組織(岩田誠会長)は、令和六年十二月十四日(土)小柚木公園にて防災訓練を行いました。受付を実施した後、防災推進員から耐震対策グッズ及び防災バッグの説明を受けました。次に、水消火器を使用した消火訓練を行い訓練を終了しました。



【耐震対策グッズを確認】

富美山町小柚木区防災訓練

別府町区自主防災組織(森山晴由会長)は、令和六年十二月十五日(日)各津波避難場所及び別府公民館にて防災訓練を行いました。9時に地震が発生し津波警報が発令されたとの想定で第26部消防団(甲斐寛之部長)が避難広報を実施。住民の皆さんは、各避難場所へ避難をしました。その後、別府公民館に移動して、煙体験ハウスによる煙中歩行訓練、陸上自衛隊第43普通科連隊中隊長による防災講話及び延岡警察署による防犯講話を受けました。最後に、陸上自衛隊の炊き出しによるカレーライスを楽しむことができました。



【災害派遣について受講中】



【カレーライス】

惣領区防災講話

惣領区自主防災組織（中島克洋会長）は、令和六年十二月十五日（日）に惣領公民館で合同防災講話を行いました。

中島会長から「延岡市でも8月の地震や10月の大雨など自然災害が発生しています。防災意識を高めるきっかけにしたい」と挨拶があり、防災推進員より令和6年10月に発生した大雨について、雨雲レーダーの雨量を時系列で確認し、市内の冠水状況などを理解しました。

また令和6年に震度5弱以上の揺れが27回起きており日本の何処にいても地震への備えが大切な事や日向灘地震は、南海トラフ地震より震源地が近く津波の到達時間が早いことを知る事が出来ました。地震に対する備えの例として、頭を守る・家具を固定する・重量物を高い場所に置かない・家具のレイアウトを再確認するなどのアドバイスを受け、防災講話を終了しました。



【挨拶する中島会長】

延岡手話サークルわかあゆ防災講話

延岡手話サークルわかあゆ（松本正美会長）は、令和六年十二月七日（土）に延岡まちづく

りセンターで、「もしもライフラインが止まったら（身近な物を使った実践）」をテーマで防災講話を行いました。

危機管理課兼松主任主事から防災のベオカアプリの説明があり早速ダウンロードする参加者も見受けられました。次に、防災推進員より在宅避難する際に身近にある物を使った防災グッズの紹介がありました。ペットボトルと懐中電灯で作成するランタンや断水時のトイレ使用法及び非常食の考え方などを手話通訳を交えながら展示・説明を受けました。

その後、各グループに分かれて、普段から準備する事や災害発生後に必要な手段などを活発に話し合う事が出来て、有意義な時間を過ごしました。



【手話通訳とともに】

INOBECH協同組合避難訓練

INOBECH（イノベック）協同組合・旧延岡鉄鋼団地（黒木保善理事長）は、令和六年十一月十九日（火）に独自に作成した「地震に伴う津波発生時における避難行動」マニュアルを配布するとともに、延岡市津波避難施設に関する説明及び防災講話を行いました。

防災訓練・講話等予定

3月2日（日）

- ・方財町区防災訓練
午前9時～
方財小学校

3月9日（日）

- ・塩浜町笹目区防災訓練
午前9時～
ささめふれあい広場

3月16日（日）

- ・平原地区合同防災訓練
午前8時～
青朋高校・南小学校

3月18日（火）

- ・さんさんクラブ野地防災講話
午前10時～
野地公民館

3月20日（木）

- ・富美山みどり区防災訓練
午前
富美山第2街区公園

3月23日（日）

- ・野地町向陽台団地区防災訓練
午前9時～
向陽団地公民館

3月30日（日）

- ・差木野町1区、2区防災講話
午後12時30分～
差木野町公民館

- 片田先生による市民向け
防災講演会

3月23日（日）

- 午前10時～
延岡市総合文化センター大ホール
＊入場無料

出前講座

自主防災組織の育成と拡大のための出前講座

- ・内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
- ・会場：各地域（公民館など）
防災研修センター
- ・申し込み先：消防本部
警防課 警防係
TEL22-7105
FAX31-0303

宮崎県防災士出前講座

- ・内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
- ・申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL0985-55-0477
FAX0985-55-0467

鶴ヶ丘区女性部防災講話

鶴ヶ丘区女性部（七條智子会長）は、令和六年十二月十四日（土）に鶴ヶ丘公民館で「災害に困らない3つの知恵を学ぼう」というテーマで防災講話を行いました。ハザードマップから鶴ヶ丘周辺の災害リスクなどを確認するとともに、高密度ポリエチレン袋を使って、炊いたご飯を試食しました。



【整齊とした行動】



【防災バックを準備】



【避難場所に到着しました】

十二月十一日（水）には、敷地内・外に設定した4か所の避難場所へ大津波警報が発令されたのと想定で、22社の社員が避難行動を行いました。自社から避難施設までの時間計測や経路上の危険見張り及び避難場所の混雑状況などについて意見交換が行われました。組合では、今後も避難訓練等を継続的に行い組合員の安全を確保していきたいと目標を掲げて避難訓練を終了しました。